

令和4年度 在家小ネット利用ルール

川口市立在家小学校長 渡辺 訓次
 川口市立在家小学校PTA会長 宇佐見昌彦
 川口市立在家小学校児童会役員一同
 学校運営協議会委員長 伊藤 正樹

1 はじめに

「在家小ネット利用ルール」の取組にたくさんの児童、保護者、地域の方にご意見、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。以下に児童、保護者、地域、学校がそれぞれの立場でできることをまとめました。保護者の皆様におかれましては、これらを基にして各家庭の生活スタイルに合わせて子供達と約束を決めることが大切です。また、すでにゲーム・スマホを持っている家庭はこの機会に改めて見直し、これから持たせる家庭は、買い与える前の参考にしてください。

2 令和4年度 在家小ネット利用ルール

立場	キーワード	具体的な約束
児童	①時間 ②保護者との約束 (やりとりの内容) ③みんなでなくそうNBI (なかまはずれ 暴言 いじめ) ④相談	①スマホ・ゲームを使えるのは基本午後9時までとする。 ②家庭の約束を守り、保護者にスマホの内容を見せることにする。 ③相手が嫌な気持ちになることや自分がされて嫌なことをしない。 ④困ったとき、嫌な思いをしたときは保護者(相談できる大人)に相談をする。
保護者	①会話、関わり、働きかけ ②確認 ③責任	①日常的にコミュニケーションをとり、子供の変化やスマホ・ゲームについて話し合う。 ②フィルタリングをかけ、こまめにスマホ・ゲームの利用状況を確認する。 ③トラブルの際は積極的に事実を確認し、責任をもって解決にあたる。
地域	①情報収集 ②見守り・情報提供	①学校からの情報を回覧する。不確かな情報はうわさしない。 ②子供達の様子を見守り、積極的に声をかけ、あいさつをする。些細なことでも学校、保護者に伝える。
学校	①啓発 ②協力 ②指導	①定期的に保護者や地域に分かりやすく啓発する。 ②トラブルの際は、学年児童全体に説明をし、保護者に協力を求める。 ③ネットモラル(個人情報、誹謗中傷、犯罪)について児童に指導する。

上記のことを守ります。 年 組 児童氏名 _____

保護者氏名 _____

3 補足

児童の約束「①スマホ・ゲームを使えるのは基本午後9時までとする。」について
使用を「8時まで」から「9時まで」に変更しました。

理由・留意点

①様々な意見を総合的に考え、「守ることができる約束」ことを重点としました。

②だれもが午後9時ぎりぎりまでやってよいというわけではありません。小学生の発達段階においては、心身の健やかな成長を考え、十分な睡眠時間を確保し、早く寝るべきです。就寝する直前までスマホやゲームをしていると、明るい画面が頭の中に残り、睡眠の質が低下します。大切なことは、子供達の健全育成です。子供達の年齢に合わせて就寝する1時間前には、ゲームやスマホをやらないようにしましょう。

③各学年によって使用可能時間帯を分ける意見もありましたが、上の兄弟姉妹がやっているのに、下の子がやめる時間になってもやめられないことが予想されるため一律に時間を設けました。

また、使用可能時間（「平日は2時間まで」など）を決める意見もありましたが、すでに時間を決めている家庭もあり、それぞれの生活スタイルによって9時までどのくらいできるのかが違うため、家庭で守ることができる約束を決めることがよいと考えます。

④ある家庭は、家族と話し合った約束で午後9時以降も使ってよいことになっていても、他の家庭は、午後9時までという約束を守っているかもしれません。相手のことも考えて、友達とのやり取りは遅くても午後9時までとし、自分の家庭のルールを大切にしてください。また、早朝ならよいというわけではありません。思いやりの気持ちを持ち、自分の都合で相手に迷惑をかけることはやめましょう。相手から返事を求めたりすることもやめましょう。

4 その他の意見について

・「ゲームなしの日を作るのはどうか」

→毎月主に第2、3日曜日に「ふれあいの日」として、家族とのコミュニケーションを大切にす
る日を設けています。ふれあいの日を改めて見直してみるのはいかがでしょうか。

・「トラブルがないか定期的に児童にアンケートをするのはどうか」

→各学級に「あんしんカード」があり、児童が困ったことはそのプリントに書いて、担任に知らせることが
できます。また、学期に1回「生活アンケート」を行い、児童から聞き取りを行い、早期発見、解決に
取り組んでいます。

5 取組の中で提案された各家庭の取組

- ・Switch、スマホの見守り設定をしている。(時間、アプリ、課金の制限)
- ・定期的に話合いの時間を持ち、必要であればルールの見直しをしている。
- ・平日は30分、休日は1時間などできる時間を変えている。
- ・児童だけの約束だけでなく、保護者も使用についての約束をする。

令和4年度 在家小ネット利用ルール

川口市立在家小学校長 渡辺 訓次
川口市立在家小学校PTA会長 宇佐見昌彦
川口市立在家小学校児童会役員一同
学校運営協議会委員長 伊藤 正樹

立場	キーワード	具体的な約束
児童	①時間 ②保護者との約束 (やりとりの内容) ③みんなでなくそうNBI (なかまはずれ 暴言 いじめ) ④相談	①スマホ・ゲームを使えるのは基本午後9時までとする。 ②家庭の約束を守り、保護者にスマホの内容を見せることにする。 ③相手が嫌な気持ちになることや自分がされて嫌なことをしない。 ④困ったとき、嫌な思いをしたときは保護者(相談できる大人)に相談をする。
保護者	①会話、関わり、働きかけ ②確認 ③責任	①日常的にコミュニケーションをとり、子供の変化やスマホ・ゲームについて話し合う。 ②フィルタリングをかけ、こまめにスマホ・ゲームの利用状況を確認する。 ③トラブルの際は積極的に事実を確認し、責任をもって解決にあたる。
地域	①情報収集 ②見守り・情報提供	①学校からの情報を回覧する。不確かな情報はうわさしない。 ②子供達の様子を見守り、積極的に声をかけ、あいさつをする。些細なことでも学校、保護者に伝える。
学校	①啓発 ②協力 ②指導	①定期的に保護者や地域に分かりやすく啓発する。 ②トラブルの際は、学年児童全体に説明をし、保護者に協力を求める。 ③ネットモラル(個人情報、誹謗中傷、犯罪)について児童に指導する。

上記のことを守ります。 年 組 児童氏名 _____

保護者氏名 _____